

現代国際巨匠絵画展
きょうから舞鶴で
国内外の画家が手がけた
油絵など約120点を集めた「現代国際巨匠絵画展」(読売新聞京都総局など後援)が22、24日、舞鶴市政記念館で開かれる。無料。経済的な困難を抱える子どもへの学習支援などを行うNPO法人「よのなか塾」が主催。ダウン症の書道家として知られる金沢翔子さん、清水寺(東山区)の森

清範貫主の作品なども展示される。21日は出品者のスペイン人画家エンリク・ルビオさん(52)が、舞鶴市のシオン幼稚園を訪問。園児約50人と絵を描くイベントに参加したルビオさんは「たくさんの人に来てほしい」と話していた。午前10時〜午後6時。問い合わせは同塾(0773・60・2849)。

人気現代作家50人 絵画120点展示

児童生徒の学習支援やなかよし食堂(旧こども食堂)の運営などに取り組み舞鶴市市場のNPO法人よのなか塾は22、24日に、同市北吸の市政記念館でチャリティー企画「現代国際巨匠絵画展」(朝日新聞舞鶴支局など後援)を開く。

絵画展には国内外の人気現代作家約50人の油彩画、水彩画、版画など約120点を展示。学習障害がある英国人画家マッケンジー・ソープ、ダウン症の書家金澤翔子、清水寺の森清範貫主らの作品もある。収益金の一部は同塾の活動資金などに充てられる。

21日にはスペインから招待した画家、エンリク・ルビオさん(52)が同市浜のシオン幼稚園を訪れ、園児たちと

舞鶴のNPO チャリティー企画開催



エンリク・ルビオさん(中央)が見守る中、自分の絵を貼りつける園児ら。舞鶴市浜

花や人の絵を横2辺、縦1・8辺の白い紙に貼りつけた作品「お花畑」を完成させた。
絵画展の問い合わせは、よのなか塾(0773・60・2849)。